

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	通年
授業科目名	人間学Ⅲ		担当教員名	寺澤 昌樹 ・ 学生支援課 (1~8,10回) (9回)		
授業形態	講義	授業時数	20	単位数	1	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。					
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢		
			80%	20%		
教員実務経験	—					
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。					
教科書	書名	人間学	書名			
	書名		書名			
参考書	書名		書名			
	書名		書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1)良い人間関係を作るには (2)会社の仕組みと組織 (3)社会人としてのマナー
2		
3	社会人基礎力	(1)前に踏み出す力 (2)考え抜く力 (3)チームで働く力
4		
5※	グループディスカッション	グループディスカッション
6※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
7※		
8※		
9※	コンプライアンス	コンプライアンスについて
10※	奉仕活動	清掃活動など

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	前期
授業科目名	法規関連		担当教員名	横井 鉄也		
授業形態	講義	授業時数	52	単位数	3	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空法及び航空法関連法の実務的運用の知識を習得する。					
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(ヘリコプター・タービン)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	なし			
	100%					
教員実務経験	官公庁において航空機整備の実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	1年次、2年次で学んだ航空法の知識をベースにして運用の仕方を学ぶため、学科試験合格後も内容をまとめて理解しておいてください。					
教科書	書名	航空機の基本技術		書名		
	書名	法規関連 サブテキスト		書名		
参考書	書名	航空機検査業務 サーキュラー集		書名		
	書名	航空法規集		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	9. 認定事業場	1.事業場の認定2.認定事業場の業務区分3.業務範囲及び作業区分の限定
2		4.認定の基準5.業務規程6.確認主任者の業務及び確認したことの証拠7.基準適合証
3	10. 整備方式	1.使用時間2.オーバーホール方式と信頼性整備方式
4		3.発動機等整備方式指定要領
5 ~	11. 作業の区分	1.作業の区分と確認
7		2.作業の区分の概要
8	12. 航空従事者	1.航空従事者2.航空業務
9		3.有資格整備士の確認行為
10		4.各整備段階における確認5.装備品に対する作業及び確認
11		6.整備及び確認に関する一覧表7.航空日誌への記載
12		7.航空日誌への記載
13		7.航空日誌への記載
14		7.航空日誌への記載8.技能証明書の取り扱い9.指定航空従事者養成施設
15	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
16	13. 航空機の運航	1.機器及び装置の装備義務2.救急用具
17		3.航空機に備え付ける書類
18		4.運用許容基準5.危険物の輸送禁止
19		6.必要燃料搭載量7.航空機の灯火8.酸素装置
20	14. 航空運送事業等	1.航空運送事業2.航空機使用事業
21	15. 航空運送事業者の安全管理体制	1.運航管理施設等の検査2.航空運送事業者の安全管理体制3.安全管理規程と安全統括責任者
22		4.安全に関する情報の公表及び報告制度5.安全監査
23	16. 整備規程	1.整備規程2.記載しなければならない事項3.整備規程の内容
24	17. 空港管理規則	1.車両の使用及び取り扱い2.禁止行為3.事故報告4.給油作業等5.無線設備の操作の禁止
25	18. 立入検査	1.検査の対象1.罰則
26	まとめ	進捗度確認(2時数) No4

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	前期
授業科目名	基本実習Ⅲ		担当教員名	須崎 貴史・ヘリコプターグループ		
授業形態	実習	授業時数	126	単位数	3	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	今まで学んだ航空整備に関する基本技術の知識・技能の集大成として、2等航空整備士を取得することを目的とする。					
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(ヘリコプター)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験 100%	レポート	なし			
教員実務経験	官公庁において航空機整備の実務経験、指定養成施設において航空機整備の実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	実習中は、安全に対する配慮や一つひとつの作業を確実にやり、また、工具類の整理・整頓を心掛けてください。 目的意識を持って受講し、また、常に疑問を持ち、考える習慣をつけてください。 自分の意見を持ち、説明できる力を養ってください。					
教科書	書名	航空機の基本技術		書名		
	書名			書名		
参考書	書名	航空機の基本技術トレーニング・ガイドⅥ		書名		
	書名	航空機整備作業の基準(AC43.13-1B/2A)		書名		
授業計画 (各回ごとの項目と内容について)						
回=90分	項目		内容			
1	1. ベンチ作業	1. タップ2. ダイス3. リーマー				
2		4. スタッド				
3		5. ヘリコイル				
4		6. プンチン製作 (1)手順				
5 ~ 16		6. プンチン製作 (2)基準面の切削 (3)側面の切削 (4)上面の切削 (5)ドリルによる穴あけ (6)タップ及びダイス作業 (7)面取り及び検査				
17	まとめ	進捗度確認 No1				
18	2. 表面処理	1. Al合金の腐食除去方法				
19		2. Al合金の化成皮膜処理				
20		3. 塗装 (1)塗装作業				
21		(1)塗装作業				
22		(2)ペイントの除去				
23	まとめ	進捗度確認 No2				
24 ~ 37	3. 総合	1. リベット 2. 成形法 3. 構造修理 4. 作図知識 5. ベンチ作業 6. 機械計測 7. 電気計測 8. 金属材料 9. 非金属材料 10. ケーブル 11. ホース・チューブ 12. 表面処理 13. 溶接 14. 締結 15. 電気工作 16. 非破壊検査				
38	まとめ	進捗度確認 No3				
39 ~ 48	3. 総合	(1)リベット (2)機械計測 (3)電気計測 (4)ケーブル作業 (5)締結作業				
49	まとめ	進捗度確認 No4				
50 ~ 59	3. 総合	(1)リベット (2)機械計測 (3)電気計測 (4)ケーブル作業 (5)締結作業				
60	まとめ	進捗度確認 No5				
61	まとめ	進捗度確認 No6				
62	まとめ	進捗度確認 No7				
63	まとめ	進捗度確認 No8				

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	通年
授業科目名	機体実習 II		担当教員名	杉原 秀則 ・ ヘリコプターグループ		
授業形態	実習	授業時数	150	単位数	3	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ヘリコプターの構造、機能、分解、検査、組立て、故障探求について学ぶ。					
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士の業務に必要な知見、技能について習得し、当該資格の業務範囲の整備作業が適確に実施できる能力を習得する。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	なし			
教員実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	2年生で学んだヘリコプターの原理や構造を3年生では更に発展させ、整備方法、故障探求を身に着けることで最終的に2等航空整備士の業務が出来ようになります。					
教科書	書名	トレーニング・ガイド			書名	
	書名				書名	
参考書	書名	機体メンテナンスマニュアル			書名	ヘリコプター工学
	書名	フライト・マニュアル			書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 推進系統 1. メーン・ロータ	1. 主要部+E21:M56品の検査要領(1)前縁エロージョンのリミット及び修理限界
2		(2)デント及びボイドの検査方法
3		(3)ダブラーのボイドのリミット及び修理限界
4		(4)デントのリミット
5		2. 主要部品の交換及び検査要領(1)ハブ&ブレードの取外し
6		(2)ハブ&ブレードの分解
7		(3)ハブ&ブレードの検査
8		
9		(4)ハブ&ブレードの組立
10		
11		(5)ブレード・アライメント
12		(6)スタティック・バランス
13		3. 調整要領(1)ロータ・バランシング a. 概要
14		b. 振動解析装置
15		(2)地上トラッキング a. 前進飛行トラッキング
16		b. ダイナミック・バランス
17		(3)オート・ローテーションの回転数調整
18		4. 故障探求(1)1:1縦振動(2)1:1横振動(3)1:2振動(4)高周波振動
19		5. 調整要領(1)地上トラッキング
20		(1)地上トラッキング
21		(2)ダイナミック・バランス
22		
23	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
24	1. 推進系統 2. メーン・ロータ ・ドライブシステム	1. 主要部品の交換及び検査要領(1)ドライブ・システムの検査一般
25		(2)メーン・ドライブ・シャフトの検査
26		(3)サービスアビリティ・チェック
27		(4)MGB交換
28		

回=90分	項目	内容
29	1. 推進系統 2. メーン・ロータ ・ドライブシステム	2. 故障探求(1)オイル・リーク・リミット(2)オイル・コンタミネーション
30		3. 主要部品の交換、検査及び調整要領(1)MGBの取外し
31～		(1)MGBの取外し
33		
34		(2)MGBの検査
35～		(3)MGBの取付け
38		
39		(4)オペレーショナル・チェック
40		(5)フリー・ホイール・ユニットの取外し
41		(6)フリー・ホイール・ユニット・ディメンショナル・チェック(7)フリー・ホイール・ユニットの取付け
42	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
43	1. 推進系統 3. テール・ロータ	1. 主要部品の検査要領(1)テール・ロータの検査
44		2. 調整要領(1)テール・ロータ・スタティック・バランス(2)テール・ロータ・ダイナミック・バランス
45		3. 主要部品の交換及び調整要領(1)ハブ&ブレードの取外し
46		(2)ハブ&ブレードの分解
47		(3)ハブ&ブレードの検査
48		(4)ハブ&ブレードの組立
49		(5)テール・ロータ・スタティック・バランス
50		(6)ハブ&ブレードの取付け
51		
52		(7)テール・ロータ・ダイナミック・バランス
53	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
54	2. 操縦系統 1. メーン・ロータ・コントロール	1. 調整及び作動試験要領(1)コレクティブ・コントロール・リギング要領及び注意事項
55		(2)サイクリック・コントロール・リギング要領及び注意事項(3)ピッチ・リンク交換要領 2. 故障探求
56		3. 調整及び作動試験要領(1)コレクティブ・コントロール・リギング
57		(1)コレクティブ・コントロール・リギング
58		(2)サイクリック・コントロール・リギング
59		(3)ミニマム・ピッチ・アングルの測定
60		1. 調整及び作動試験要領(1)テール・ロータ・コントロール・リギング
61		(1)テール・ロータ・コントロール・リギング
62		2. 調整及び作動試験要領(1)テール・ロータ・コントロール・リギング
63		(1)テール・ロータ・コントロール・リギング
64	3. 油圧系統	1. 作動試験要領(1)テスト・スタンドの取扱い(2)機能試験 2. 故障探求(1)リークとその対策
65		3. 作動試験要領(1)テスト・スタンドの取扱い(2)ソレノイド・バルブの機能試験
66	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
67	4. 着陸系統	1. 主要部品の交換及び検査要領(1)ランディング・ギアの交換(2)ランディング・ギアの検査
68		(3)デフレクション・チェック 2. 故障探求(1)ランディング・ギア取付け不良の不具合
69		3. 主要部品の交換及び検査要領(1)ランディング・ギア取外し
70		(2)ランディング・ギア検査
71	(3)ランディング・ギア取付け	
72	(4)デフレクション・チェック	
73	5. 機体構造	1. 主要部品の検査要領(1)テール・ブーム取付け部の検査
74		(2)テール・ブーム(3)スタビライザ 2. 故障探求(1)テール・ブーム
75	まとめ	進捗度確認(2時数) No5

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	通年
授業科目名	発動機実習Ⅱ		担当教員名	横井 鉄也 ・ ヘリコプターグループ		
授業形態	実習	授業時数	184	単位数	4	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	二等航空整備士(ヘリコプター)に必要な知識、技能を修得するため、アリソン250-C20シリーズ型エンジンを主体にし、構造、機能、分解、調整、検査、組立ておよび故障探求について学ぶ。					
到達目標 (150文字程度)	1年次のタービン・エンジンの基礎知識及び2年次に学習したアリソン式250ターボシャフトエンジンの構造及び機能の知見を基に、二等航空整備士の業務に必要な知見、技能について習得し、当該資格の業務範囲の整備作業が適確に実施できる能力を習得する。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	なし			
100%						
教員実務経験	航空機製造会社において航空機整備の実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	資格取得に向けての最終科目です。 1, 2年生の知識がしっかり身につけていることが前提で授業が進みます。後期からは実習が多くなりますので頭の強化だけでなく体力の強化も準備しておいてください。					
教科書	書名	トレーニング・ガイド		書名		
	書名			書名		
参考書	書名	機体メンテナンスマニュアル		書名	オペレーション&メンテナンス	
	書名	フライト・マニュアル		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 潤滑系統	1. 主要部品の交換、点検及び調整要領(1)整備一般(2)油圧の調整要領
2		(3)オイルの流量点検要領
3		(4)オイル・フィルタの交換、洗浄及び点検
4		(5)チップ・ディテクタの交換及び点検(6)チップ・ディテクタのステールの形状判断及び処置
5~8		3. 主要部品の交換、点検及び調整要領(1)滑油圧力の調整(2)オイルの流量点検(3)オイル・フィルターの取外し、取付け(4)チップ・ディテクタの取外し、取付け
9	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
10	2. 点火系統	1. 主要部品の交換及び点検要領(1)整備一般(2)エキサイタの交換及び機能点検
11		(3)イグナイタの交換及び機能点検(4)イグナイタ・リードの交換及び点検
12		2. 主要部品の交換及び点検要領(1)エキサイタの交換及び機能点検(2)イグナイタの交換及び機能点検
13		
14	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
15	3. 燃料系統	1. 主要部品の交換、点検、検査、及び調整要領(1)整備一般
16		(2)フューエル・ノズルの交換、洗浄及び検査要領
17		(3)フィルタの交換(4)フィルタ・バイパス・バルブのリーク(5)アイドル・スピード
18		(6)減速点検(7)スタート特性の調整
19		(8)カット・オフ・バルブ・リークの点検(9)PCライン・リークの点検
20		(10)その他の点検調整
21	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
22~29	3. 燃料系統	2. 主要部品の交換、点検、検査及び調整要領(1)フューエル・ノズルの交換及び洗浄要領(2)アイドル・スピード(3)スタート特性(4)カット・オフ・バルブのリーク(5)PCラインのリーク
30	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
31	4. エンジン・コンポーネント	1. 主要部品の分解、点検及び組立要領(1)整備一般
32		(2)コンプレッサ・ケース・アセンブリの分解及び組立要領
33		(3)コンプレッサ・ケース・アセンブリの点検及び修理
34		(4)エンジン点検の種類(5)エンジン100時間点検
35		(5)エンジン100時間点検(6)エンジン300時間点検
36		(6)エンジン300時間点検(7)エンジン特別点検
37~40		2. 主要部品の分解、点検及び組立要領(1)コンプレッサ・ケースの分解、組立、点検及び修理
41~50		(2)エンジン100時間及び300時間点検

回=90分	項目	内容
51	まとめ	進捗度確認(2時数) No5
52	5. エンジン交換	1. エンジンの交換要領(1)エンジンの交換理由
53		(2)エンジンの取外し(3)エンジンの取付け
54		(4)エンジン取付け後の点検及び調整
55		
56		
57		
58		2. エンジンの交換要領(1)エンジンの取外し
59		(1)エンジンの取外し
60～		(2)エンジンの防錆
63		(3)エンジンの取付け
64～	(4)エンジン取付け後の点検及び調整	
67		
68	6. エンジン・コントロール	1. エンジン・コントロールの調整要領(1)アンチ・アイシングのリギング(2)GPFCのリギング
69		(3)PTGのリギング
70		2. エンジン・コントロールの調整要領(1)アンチ・アイシングのリギング(2)GPFCのリギング
71		(3)PTGのリギング
72	まとめ	進捗度確認(2時数) No6
73	7. エンジンの運用とレビュー	1. エンジンの運用(1)寒冷時の運用
74		(2)デیفューザ・ベント・オリフィスの選択
75		(3)出力点検の方法
76～		(4)マニュアルに基づく故障と探求方法
82		
83		
84		
85		2. エンジン・レビュー(1)エンジンの特徴及び諸元
86		(2)エンジンの構造及び機能(コンプレッサ、ギア・ボックス)
87		(3)各システムの機能及び整備 a. 潤滑系統 b. 点火、防除氷及び空気圧系統
88		
89		
90		c. フューエル・コントロール系統
91		(5)エンジン・コントロールの機能及び整備
92		まとめ

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科	二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)	開講時期	3年次	通年
授業科目名	装備品実習Ⅱ		担当教員名	寺澤 昌樹 ・ ヘリコプターグループ	
授業形態	実習	授業時数	112	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の電気装備品、計器、無線機等の構造、機能、原理、分解、調整、検査、組立て、取付け取外し及び故障探求について学ぶ。				
到達目標 (150文字程度)	1年次の装備品の基礎知識及び2年次に学習したベル式206型に装備している各種装備品ならびにシステムの構造、機能の知見を基に、二等航空整備士の業務に必要な知見、技能について習得し、当該資格の業務範囲の整備作業が適確に実施できる能力を習得する。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	なし		
	100%				
教員実務経験	官公庁において航空機整備の実務経験				
学生へのメッセージ (150文字程度)	どの科目も同じですが、1年生で学んだ事が基礎となり最も大切だと考えています。解らない点は、どんなに小さな事でもそのままにせず必ず質問して解決するようにしましょう。				
教科書	書名	トレーニング・ガイド		書名	
	書名			書名	
参考書	書名	機体メインテナンスマニュアル		書名	
	書名	フライト・マニュアル		書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 電源系統	1. 主要部品の交換要領(1)DC電源系統 a. バッテリーの取外し、取付け
2		b. スタータ・ジェネレータの取外し、取付け
3		2. 作動試験要領(1)容量試験(2)ディーブ・サイクル・チェック(3)バッテリー・テンプ・センサの機能試験
4		(4)スタータ・ジェネレータの定時点検
5		3. 作動試験要領(1)バッテリーの取外し、取付け
6		(1)バッテリーの取外し、取付け
7		(2)容量試験(3)ディーブ・サイクル・チェック
8		(4)スタータ・ジェネレータの取外し、取付け
9		(5)スタータ・ジェネレータの定時点検
10		4. 調整要領(1)電圧調整要領及び注意事項
11		5. 調整要領(1)電圧調整
12		
13		
14		
15	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
16	1. 電源系統	6. 故障探求(1)スタータの不作動
17		(2)ジェネレータの不作動
18		7. 故障探求(1)スタータの不作動(2)ジェネレータの不作動
19		
20		
21		
22	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
23	2. 計器系統	1. 主要部品の交換及び作動試験要領(1)航法計器 a. コンパス・スウィング
24		(2)動力計器 a. TOT計の機能試験
25		(3)飛行計器 a. ビトー・スタティック・システムの クリーニング
26		b. ビトー・スタティック・システムのリーク・テスト c. ビトー・ヒータの機能試験
27		(4)機体計器 a. 燃料計の較正
28	(5)圧力計器のエア・ブリード	

回=90分	項目	内容
29	2. 計器系統	2. 作動試験及び調整要領(1)航法計器 a. コンパス・スウィング
30		a. コンパス・スウィング
31		(2)動力計器 a. TOT計の機能試験
32		a. TOT計の機能試験
33		(3)飛行計器 a. ピトー・スタティック・システムのクリーニング
34		b. ピトー・スタティック・システムのリーク・テスト c. ピトー・ヒータの機能試験
35		(4)機体計器 a. 燃料計の較正
36		a. 燃料計の較正
37	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
38	2. 計器系統	3. 故障探求(1)計器の指示不良(2)計器の指針振れ(3)圧力計のエア・ブリード
39		(1)計器の指示不良(2)計器の指針振れ(3)圧力計のエア・ブリード
40	3. 通信系統	1. 主要部品の交換要領(1)VHF(2)ICS 2. 作動試験要領(1)VHF(2)ICS
41		3. 故障探求(1)受信状況(2)ノイズ他4. 調整要領(1)スケルチ
42	4. 航法系統	1. 主要部品の交換要領(1)ADF a. 受信機(2)VOR a. 受信機 b. 指示器
43		(3)DME a. 受信機及びコントローラ(4)ATCトランスポンダ a. 受信機及びコントローラ
44		2. 作動試験要領(1)ADFの地上機能試験(2)VORの地上機能試験
45		3. 故障探求(1)受信不良(2)指示誤差
46	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
47	5. 自動操縦系統	1. 概要2. 主要部品の構成、機能及び作動(1)オート・パイロット (2)フライト・ディレクタ
48		(3)リニア・アクチュエータ (4)センサ(5)モード・セレクタ
49		3. 主要部品の位置4. 主要部品の構成(1)フライト・ディレクタ(2)SAS(3)オートパイロット
50		(4)指示系統及びウォーニング・システム5. 整備、検査の概要
51	まとめ	進捗度確認(2時数) No5
52～ 56	6. レビュー	1. 全般レビュー(No. 1～5)

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	航空整備科 二等航空整備士コース(ヘリコプタータービン専攻)			開講時期	3年次	通年
授業科目名	航空機の取扱いⅡ		担当教員名	東海林 史朗 ・ ヘリコプターグループ		
授業形態	実習	授業時数	204	単位数	5	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ヘリコプターの定時点検要領、特別点検要領、不具合発生時の処置及び動力装置の操作方法について学ぶ。					
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士の業務に必要な知見、技能について習得し、当該資格の業務範囲の整備作業が適確に実施できる能力を習得する。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	なし			
	100%					
教員実務経験	官公庁において航空機整備の実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空整備士になるための総仕上げの授業です。事業場と同様の定時点検をおこない整備技術のスキルを身に付けます。最後は、自分たちで試運転をおこない、機体に耐空性があるのかを判定します。緊張感を持って授業を受けてください。					
教科書	書名	トレーニング・ガイド		書名		
	書名			書名		
参考書	書名	機体メンテナンスマニュアル		書名		
	書名	フライト・マニュアル		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	1. 点検作業	1. 定時点検(1)各点検の整備上の分類及び目的
2~4		(2)100時間点検要領
5		(3)300時間点検要領
6		
7		(4)異常箇所発見時の処理要領
8		(5)点検終了時の処置
9		2. 特別点検(1)スペシャル・インスペクション
10		(2)コンディショナル・インスペクション
11~30		3. 定時点検(1)100時間点検要領
31~40		(2)300時間点検要領
41~44		4. 日常点検(1)飛行前点検要領
45		(2)飛行間点検要領
46		
47		
48		(3)飛行後点検要領
49		2. 動力装置の操作
50	(3)発動機始動要領	
51	(4)異常始動の対処	
52	2. 性能点検	
53	3. 停止操作(1)停止操作前の確認事項	
54	(2)発動機停止要領 4. 記録の判定	
55	5. 諸系統の知識及び作動試験実施要領	
56	6. 故障探求7. 緊急操作8. 故障の修理もしくは隔離9. 不良状態の調整作業要領	

回=90分	項目	内容
57～ 60	レビュー	1. 航空機の取扱いレビュー(No.1～4)
61	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
62	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
63～ 72	飛行前点検 /試運転	飛行前点検/試運転(1回目)
73～ 82		飛行前点検/試運転(2回目)
83～ 92		飛行前点検/試運転(3回目)
93～ 102		飛行前点検/試運転(4回目)